



平成29年4月5日

北名古屋市長  
沢田 哲 様

北名古屋市長会 市政クラブ

会長 永津 正和



視察・研修報告書

政務活動費により視察・研修のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

参加議員名	市政クラブ（別紙のとおり）	
日程	平成29年3月30日 から 3月31日 まで 2日間	
月日	視察・研修先	視察・研修概要
3・30	高知市	高知市清掃工場について  余熱利用施設 ヨネッツこうちについて  J R土讃線連続立体交差事業について
	土佐市	健康増進施設 いやっしー土佐について

旅費合計	交通費	宿泊費	土産代	通信費	参加費
544,816 円	419,200 円	117,000 円	8,616 円	円	円

## 視察報告

北名古屋市議会 市政クラブ

### 視察訪問先

- ・高知市 清掃工場
- ・高知市 余熱利用型健康増進施設ヨネッツこうち
- ・土佐市 健康増進施設いやっしー土佐
- ・高知市 JR 土讃線連続立体交差事業

### 日程

- ・3月30日～31日

### 視察目的および内容

- ・高知市 清掃工場

名古屋市が計画されているごみ焼却工場と同等の高知市清掃工場を訪問し、清掃工場の運用上の課題ならびに市民による利便性について調査を行った。

高知市ではごみ回収車についても直営で運行されているため、間違っても大事なものをゴミ出ししてしまった場合でも、ごみピットに投下する前であれば、車台につけられた番号を頼りに発見することが可能であるとのことであった。

またごみ投入ステーションへの個人持ち込みが認められており、日常ごみなどが市民の手でごみピットへと投下されていた。ここでのごみ分別は指導員の助言で行われており、引っ越しなどででたであろう大型の可燃ごみが持ち込まれているようすが見えた。

現在までのところ、北名古屋市では持ち込みを行ってこなかったが、名古屋市は持ち込みを行っていたという経緯の違いがあるため、今後こうした利用の仕方についても注意すべきと考える。

- ・高知市 余熱利用型健康増進施設ヨネッツこうち

清掃工場の余熱利用によって運営されている温水プールを中心とした健康増進施設を訪問し、これから計画が予定される北名古屋市ごみ焼却工場の余熱利用型温水プールについての計画規模や施設の利用状況等について調査を行った。

平成14年6月より供用開始されたこの施設は、敷地面積5800平方メートル、延べ床面積4446平方メートル、かなりの大きさである。駐車場は約200台の規模であり、郊外に設置されているため十分な広さがある。運用について清掃工場からのエネルギー供給を受けて、電気・高温水・冷水をそれぞれ各所に活用している。指定管理者による管理であり、エクササイズやアクアビクスなどの水中運動プログラムが充実していると感じた。またプールだけでなく多目的室・トレーニング室も兼ね備えているなど、施設はかなり充実している。

更衣室には浴室が付属していることも特色として挙げられる。立地は郊外で利便性は低いのだが年々利用者数は増加しているとのことだった。

・土佐市 健康増進施設いやっしー土佐

清掃工場の余熱利用によって運営されている温水プールを中心とした健康増進施設を訪問し、これから計画が予定される北名古屋市ごみ焼却工場の余熱利用型温水プールについての計画規模や施設の利用状況等について調査を行った。

先に訪問したヨネッツこうちと比較するとかなり小さい印象をうける施設ではあるが、25m<sup>3</sup>レーンのプールのほかに炭酸プールや低温サウナ等々があるなど、施設の箱そのものは小さいけれども機能はさまざまなものを備えている。建設費用が4億2000万、年間経費が2000万、利用料収入500万で、差し引き1500万の赤字とのことであったが、郊外の利便性の悪いところに立地している(清掃工場隣接のため致し方ない)ことなど鑑みても、またオープンしたH19からH27の利用増加率が1.8倍という数字になっていることから、かなり利用者の満足度が高いのではないかと考えられる。

・高知市 JR 土讃線連続立体交差事業

北名古屋市は名鉄犬山線連続立体交差化に向けて合併後より取り組んでいる。これからのまちづくりに際して、他地域での連続立体交差が完成した地域の交通と景観を調査するためにJR土讃線円行寺口駅から高知駅近辺までの立体交差化が行われた地域を訪問する。事業前の様子は資料からしかうかがいがい知れないが、われわれの目にした光景は広い車線と安全な歩道の確保がなされ、安心して移動できる交通網が完成していた。また高架下でも圧迫感はそれほど感じられなかったもので、上小田井～西春駅間の立体と印象はそれほど違わない。この高架下が街路市として活用されていると伺った。高知市内各所でこのような街路市が曜日替わりで並ぶそうだ。経済・観光に資するまちづくりの面からの効果が図られていることが新鮮であった。

以上、報告する。(文責:桂川)